

## 杉並ユネスコの若者、広島を訪問

### ～ヒロシマを世界に～

杉並ユネスコ協会青年部の広島スタディツアーが、3月27、28日の両日行われました。同青年部の「ヒロシマ」を学ぶ研修会は今年で19回目。今回は高校・大学生ら10人と、朝倉洋子会長、板倉徳枝副会長が来広されました。

27日には、広島平和記念資料館を見学した後、畑口 實・広ユ協平和・世界遺産部会副部会長の司会で、「被爆証言を聞く会」を開催。16歳の時に被爆した、在日韓国人被爆者である李 鐘根（イ・ジョングン）さんの体験を聞き、懇談会を行いました。広島ユネスコ協会からは亀井 章会長、松原博子副会長（平和・世界遺産部会長）が出席し、歓迎の挨拶をしました。

また青年部の皆さんは28日、ピースボランティアの橘 光生さんの案内・同行で、平和記念公園の慰霊碑めぐりや、被爆建物・本川小学校平和資料館、放射線影響研究所などの見学をしました。

ツアーの後日、板倉副会長から「今回も多くのことを学ぶことができました」との、お礼のメールが届きました。

